

香南市未来戦略

～誰もが安心して暮らし、働き、子どもを育てることができるまちに！～



(令和7年度～令和9年度)

(目次)

香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略のこれまでの総括	1
今後の全体像	4
基本目標 : 「やっぱり香南市がえい」と思えるまちづくりの推進	6
基本目標 : こどもまんなか香南市の実現	8
基本目標 : 魅力ある産業の活性化と新たなチャレンジへの支援を推進	10
SDGsの推進	12

～ 第3期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ～

令和7年3月 香南市

香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略のこれまでの総括

(第1期 将来像) 課題解決に向けた取組みを横断的・有機的に連携することで目標を達成する
(第2期 将来像) 次世代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、安心して暮らし働ける香南市

2060年の総人口の将来目標を「30,800人」に！

「第1期」の取り組みの柱 H27年度～R元年度

1. 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する
2. 新しい人の流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる

【戦略策定にあたっての視点】

地域の強みを最大限生かすため、土地利用をふまえた横断的なテーマにより、総合的な仕組みを構築・強化する
政策同士の連携による相乗効果、実効性を高める
成果重視の目標設定、PDCAサイクルにより、スパイラルアップと継続的な戦略強化

【推進にあたっての視点】

民間・産学、庁内の連携協議により取組みを進める
各地区の連携・ネットワークの強化による知恵の結集

「第2期」の取り組みの柱 R2年度～R6年度

1. 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する
2. 香南市とのつながりを強化し、新しい人の流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 地域コミュニティの活性化を図り安心・安全な地域をつくる

【横断的な目標】

次世代を担う若者に魅力あるまちをつくる / 新しい時代の流れを力にする

【戦略にあたっての視点】

地域の強みを最大限生かすため、土地利用をふまえた横断的なテーマにより、総合的な仕組みを構築・強化する
政策同士の連携による相乗効果、実効性を高める
成果(アウトカム)重視の目標設定、PDCAサイクルにより、スパイラルアップと継続的な戦略強化

【横断的な目標】

民間・産学、庁内の連携協議により取組みを進める / 各地区の連携・ネットワークの強化による知恵の結集

約10年取り組んできた結果

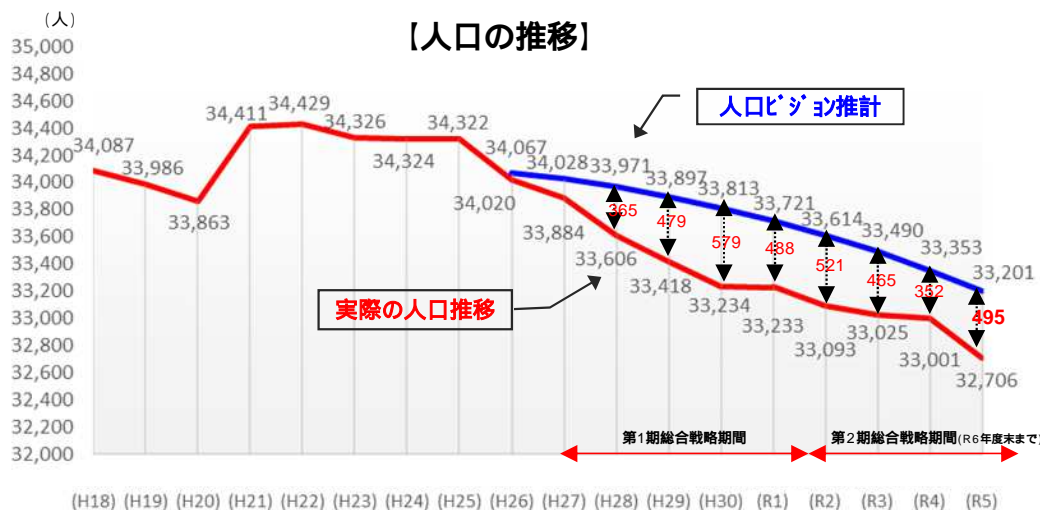
人口減少に歯止めをかけるため、総合戦略に位置付けられた各施策に取り組んできた結果、第1期開始年度である平成27年度末人口33,884人と令和5年度末の人口32,706人を比べると、1,178人(3.47%)減と緩やかな人口減少に留めることができています。

しかし、2060年(令和42年)に30,800人を目指す「香南市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(以下「人口ビジョン」という)」における目標人口からは乖離している。

年齢3区分の人口推移

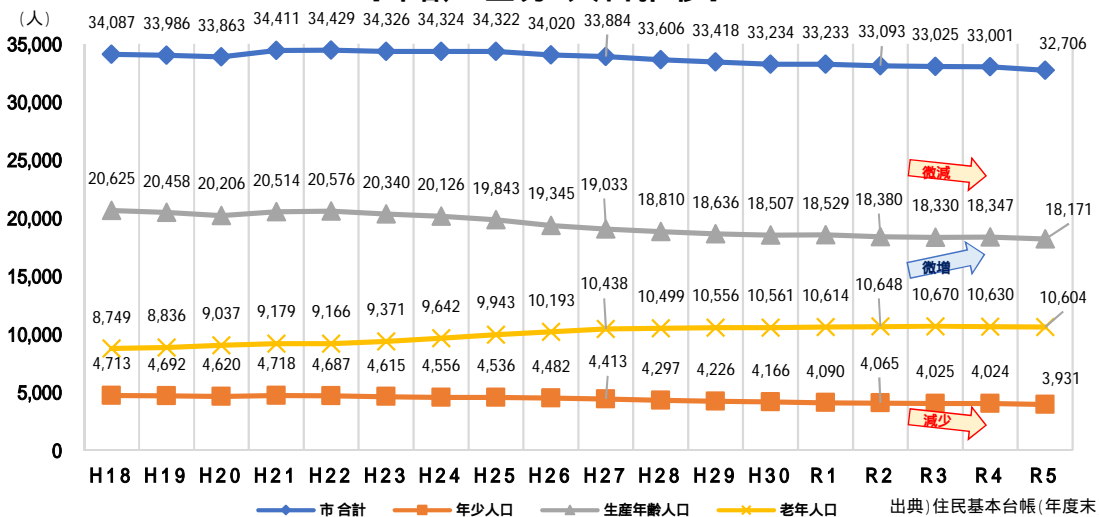
生産年齢人口が減少 ... 減少率 (H27 R5) : 4.53 %
年少人口が減少 ... 減少率 (H27 R5) : 10.92 %
老年人口がやや増加 ... 増加率 (H27 R5) : 1.59 %

少子高齢化が進行



人口ビジョン: 平成26年(2014年)を基準とした将来人口推計
実際の人口推計: 住民基本台帳(年度末)

【年齢3区分 人口推移】

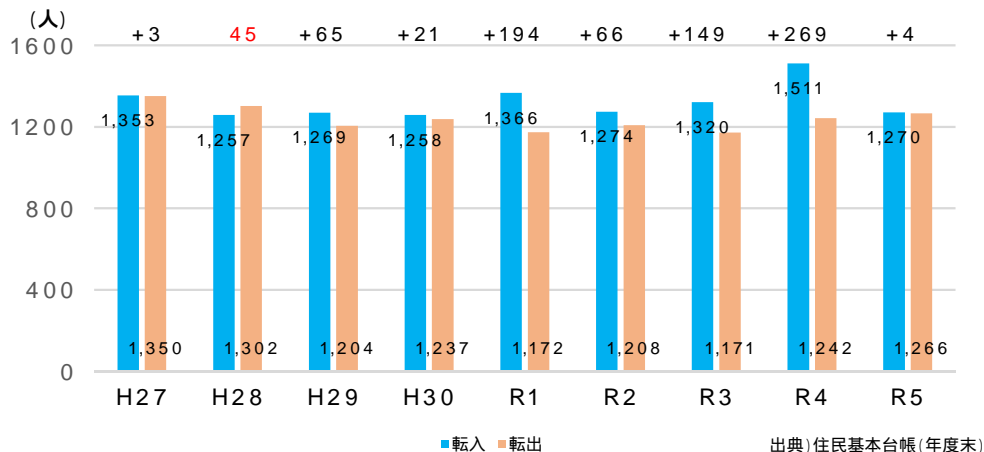


香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略のこれまでの総括

社会増減の推移

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限が緩和され、外国人の受入が再開された影響から大きな社会増につながっているが令和5年度は4人増に留まっている。

社会増減の推移



移住者数

移住施策に取り組み始めた平成27年度以降、順調に推移している。コロナ禍には、オンラインを活用した相談窓口による対応強化を進めたこと等により、県外からの移住者数は堅調に推移している。

移住者数 (相談窓口を通じての県外移住者+県内移住者)

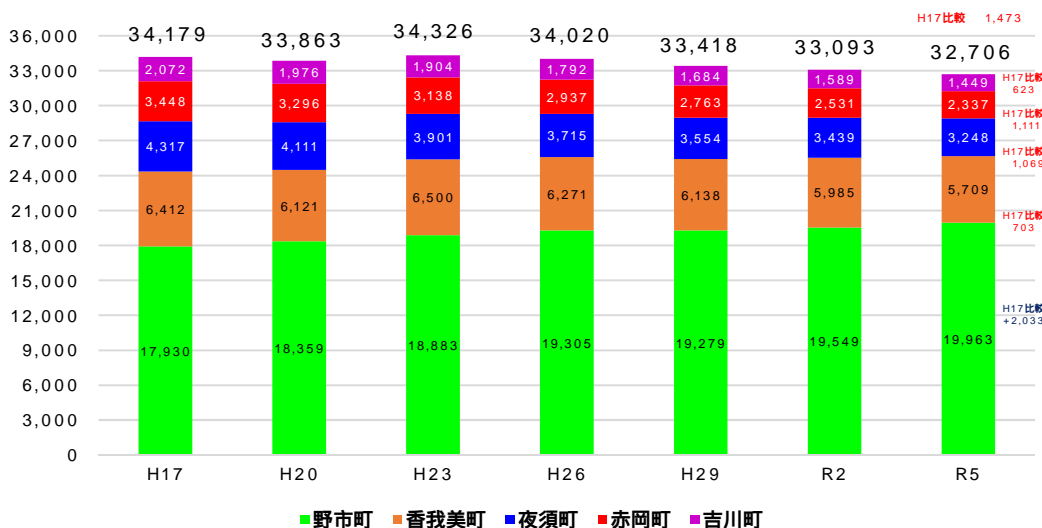
(年度末)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
県外	1組 4人	6組 10人	18組 31人	29組 50人	29組 39人	31組 50人	28組 42人	31組 45人	32組 45人
県内	0組 0人	1組 1人	2組 6人	11組 30人	9組 18人	10組 21人	16組 31人	11組 11人	20組 41人
合計	1組 4人	7組 11人	20組 37人	40組 80人	38組 57人	41組 71人	44組 73人	42組 56人	52組 86人

町別の人口推移

少子高齢化に加え、南海トラフ地震の津波想定浸水区域があること等により、本市全体では人口減少が進んでいるものの、野市町では宅地開発等が進み人口増となっている。このため、人口減少が著しい4町との人口格差が生じている。

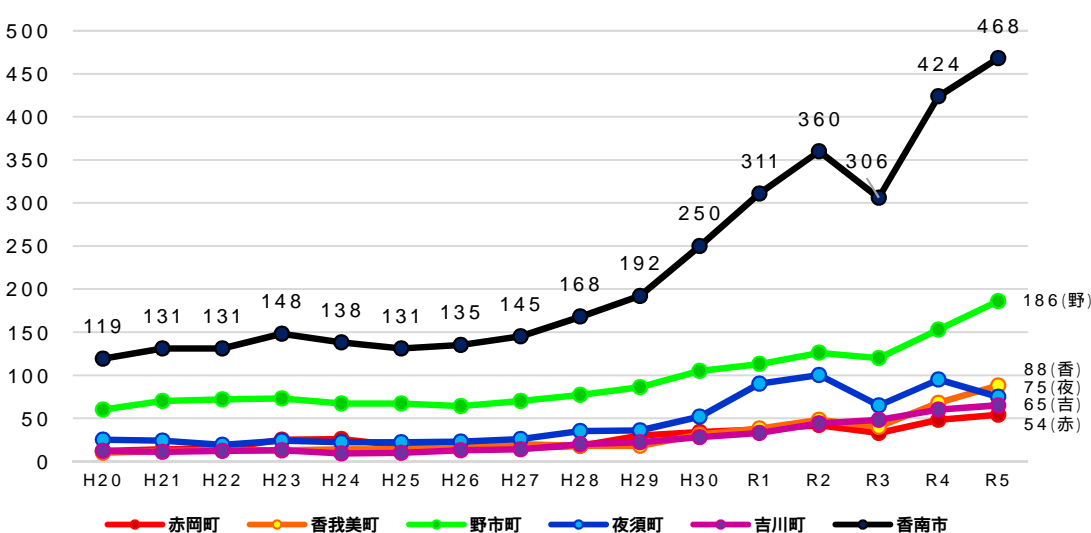
町別の人口推移



外国人人口の推移

平成29年度(2017年)頃より増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により入出国ができず一旦減少したものの、令和4年度(10月)より入国者の入国制限が撤廃されたことから、その後は増加傾向に転じている。

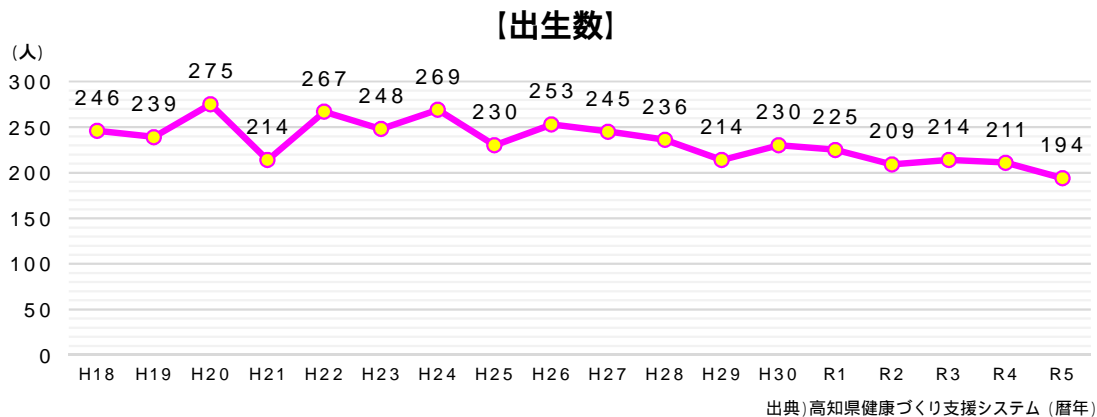
外国人人口の推移



香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略のこれまでの総括

出生数

H20年の275人をピークに緩やかに減少。R5年は、200人を初めて下回った。



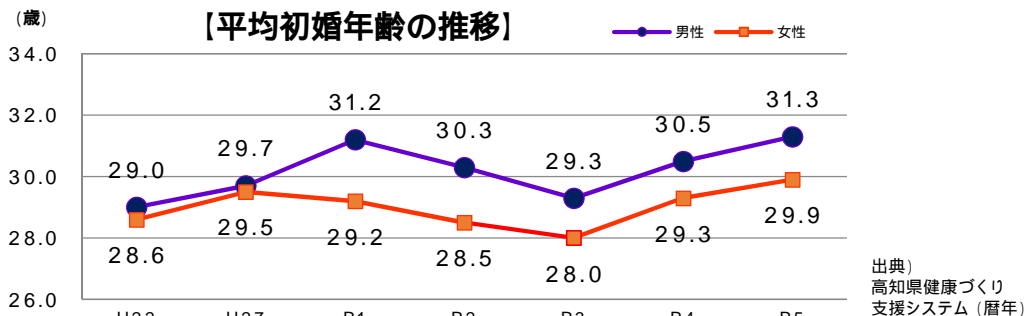
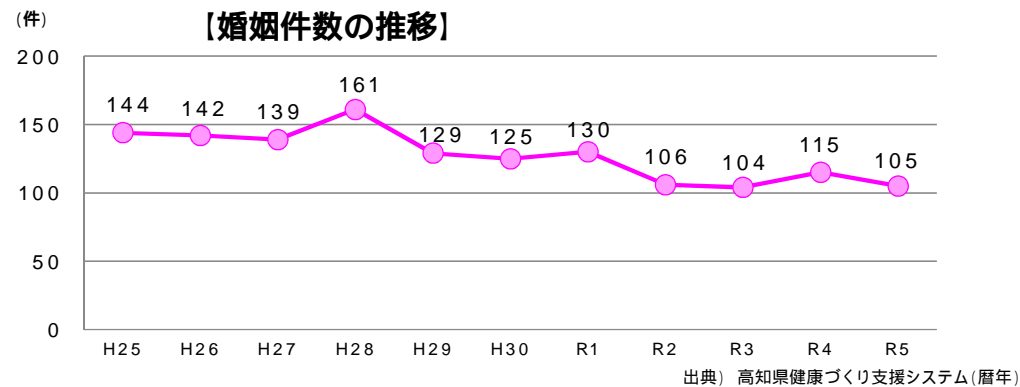
合計特殊出生率 ...【香南市目標値】 R2 (1.64) / R3 (1.66) / R4 (1.68) / R5 (1.70)

暦年	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
香南市	1.33	1.36	1.58	1.33	1.56	1.58	1.72	1.50	1.68	1.58	1.57	1.48	1.65	1.65	1.53	1.63	1.63	1.56
高知県	1.33	1.31	1.36	1.29	1.42	1.39	1.43	1.47	1.45	1.51	1.47	1.56	1.48	1.47	1.43	1.45	1.36	1.30
全国	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.26	1.20

出典)高知県健康づくり支援システム(暦年)

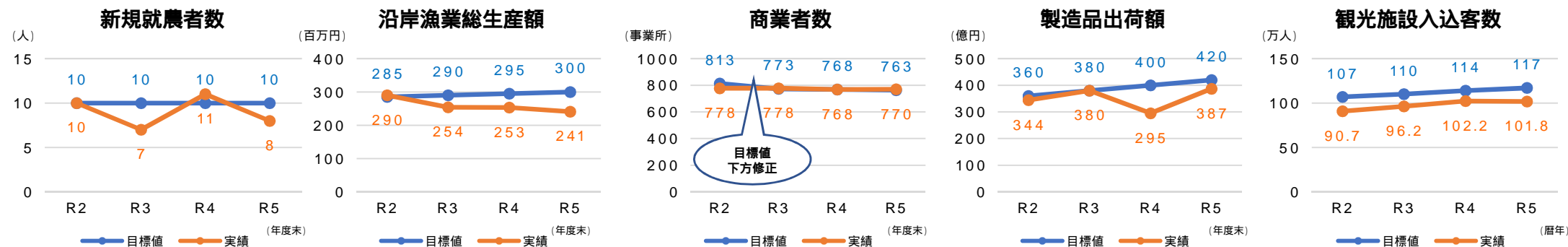
婚姻件数

新型コロナウイルス感染症の影響等により出会いの在り方に変化も生じ、R2年度以降の婚姻数は減少傾向。平均初婚年齢(H27 R5) 男性 29.7歳 31.3歳 / 女性 29.5歳 29.9歳



産業別の推移

第2期期間は商業者数を除き、目標値には届いていない。(香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実績より抜粋)



今後の将来像

本市の目指すべき姿

全国的に進展する人口減少と少子高齢化に歯止めをかけるため、国は平成26年に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したことに伴い、本市も平成27年度に「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」という。）」を策定し、人口減少を抑制し、将来にわたって活力のある地域社会を維持するために、「香南市産業振興計画」等と連携し、これまで約10年間、様々な取り組みを進めてきました。

第3期総合戦略においても、人口減少抑制のための施策は継続して進めていきますが、今後、厳しさが増すことが見込まれる財政状況や人的資源の確保にも限りがあること等を考えると、これからの香南市にとって真に必要な施策は何か、重きを置くべき事業は何かについて、その方向性を明らかにすることが必要になります。

本市の令和42年（2060年）の総人口の推計は、約20,800人（右記参照）で、令和5年度末の人口から、3割以上が減少すると見込まれていることを鑑みると、人口が大きく減少する中であっても、**誰もが、安心して暮らし、働き、子どもを育てることができるまちこそが目指すべき姿であると考えます。**

そのためには、**少子高齢化を抑制するための取り組み**を本市の強みや特性を生かして進めることで、人口構造を少しでも若返らせるよう努めるとともに、人口減少が避けられないという前提に立った行財政運営を行い、将来にわたって持続可能なまちづくりを実現するための取り組み、つまり、**人口減少に備えるための取り組み**も着実に進めることが必須となります。

以上のことから、これからも住み続けてもらえるまちづくりや進学や就職等で一旦は市外・県外に出たとしても「やっぱり香南市がよい」と帰って来てくれるまちづくりにつなげていけるよう、第3期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略にあたる「**香南市未来戦略（通称：未来戦略）**」を策定します。

各計画との連携

（国）デジタル田園都市
国家構想総合戦略

（県）高知県元気な
未来創造戦略

国・県の総合戦略を勘案

香南市未来戦略

（第3期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略）



分野別計画（ひと）

- ・香南市教育振興基本計画
- ・香南市子ども・子育て支援事業計画
- ・香南市健康増進計画（香南市自殺対策計画）
- ・香南市食育推進計画
- ・香南市高齢者福祉計画
- ・香南市障害者基本計画
- ・第2次人権教育・啓発推進後期基本計画 等

分野別計画（しごと）

- ・香南市産業振興計画
- ・香南市中心市街地活性化計画 等

分野別計画（まち）

- ・香南市都市計画マスタープラン
- ・香南市男女共同参画計画
- ・香南市地域福祉計画
- ・香南市空家等対策計画
- ・香南市地域防災計画
- ・香南市事前復興計画
- ・香南市自転車活用推進計画 等

分野別計画（デジタル関係）

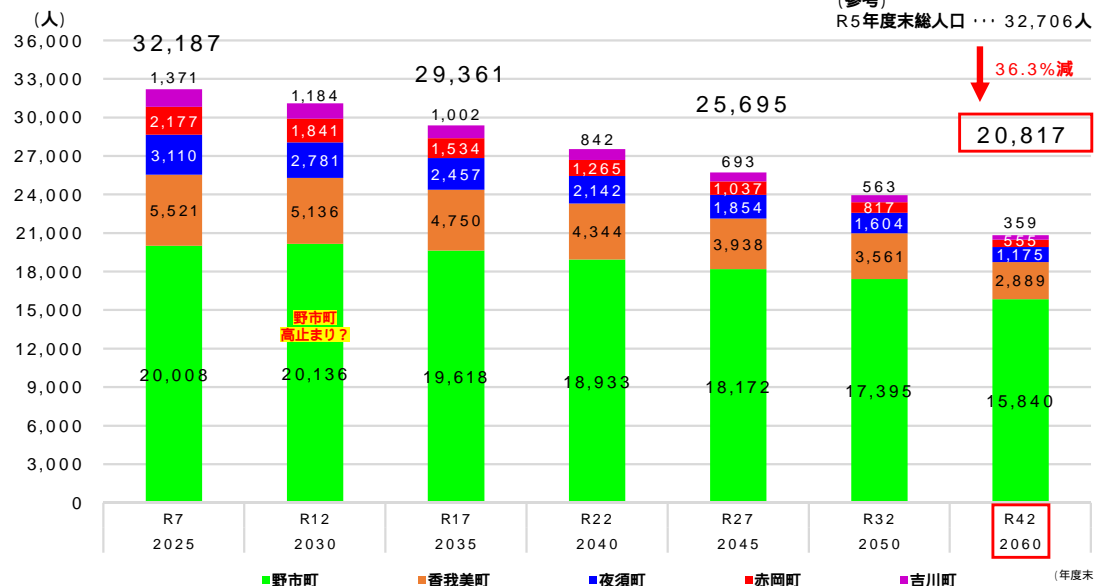
- ・香南市デジタル化推進計画



戦略の期間 R7.4.1～R10.3.31（3年間）

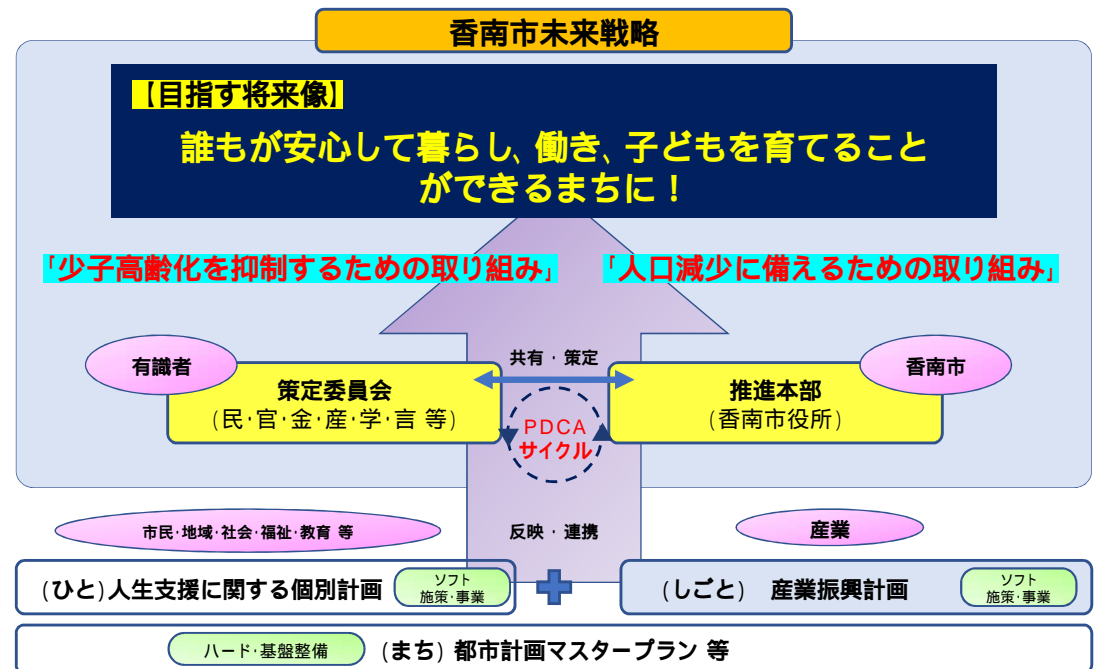
未来の人口推計（予測）

（参考）
R5年度末総人口・・・32,706人



出典）R5年度末の住民基本台帳から推計した当市人口推計

体制



目指す将来像

誰もが安心して暮らし、働き、子どもを育てることができるまちに！

「少子高齢化を抑制するための取り組み」

「やっぱり香南市がえい」と思えるまちづくりの推進

地域ごとの特色や魅力を活かし、「市民が主役の地域づくり」を推進し、安心して暮らせる環境を整えていきます。

人口が減少している中山間地域等では、地域の歴史や誇りを引き継ぐ方々の取り組みを支援するとともに、若い世代のU・Iターン等の移住促進や空き家対策と連動した住居の確保、移住者を受け入れる地域の体制の強化等を進め、地域の新たな担い手（人）の流れを生み出していきます。

新興住宅地等、人口が増加している地域では、つながりの希薄化が進んでいる一方で、子どもを中心としたつながり等が定着しつつあります。また、これまで市が推進してきた町内会等の在り方の必要性を感じない住民も少なくない現状を踏まえ、これまでの取り組みを継続しつつも、SNS等のデジタルを活用した「必要な時につながり、頼り合える関係性」を築くための支援等を進め、市民が求める新たなコミュニティの在り方の実現につなげていきます。

防災においては、市民、地域、行政の役割を明確にし、「自助・共助」を基盤とした防災・減災のまちづくりを推進し、多角的な視点から市民の意識向上や環境整備に取り組み、「いざという時に支え合える地域力」をさらに強化していきます。

1. 移住を希望する若者への対応強化
2. 空き家活用等の促進
3. 地域コミュニティの強化
4. 災害に強いまちづくり
5. 地域と連携した子育ての推進

こどもまんなか香南市の実現

個々の価値観を尊重しながら、誰もが望むタイミングで安心して出産・子育てができる環境を整えるため、ライフステージに応じた切れ目のない支援に引き続き取り組みます。

また、地域とともに子育てができる環境を整備し、女性、高齢者、外国人、障がい者等、すべての人が役割や居場所を見つけ、地域で生きがいを感じながら暮らせるまちづくりへとつなげることで、子育て世代も一緒に成長しながら、安心して出産の希望をかなえられるまち（「子育て＝香南市」）のブランド化を図ります。

1. 妊娠・出産に関する体制の充実

2. 子育てに関する体制の充実

3. 地域と連携した子育ての推進（再掲）

4. 出会い・結婚に対する支援



妊娠から出産・子育てに紐づく各個別計画を中心に取り組みを推進！

「人口減少に備えるための取り組み」

魅力ある産業の活性化と新たなチャレンジへの支援を推進

DX（デジタルトランスフォーメーション）の活用や多様な人材の確保、時代に沿った生産性の向上、付加価値化に向けた取り組み等に対し、引き続き支援を行い、本市の魅力ある産業の維持・成長へとつなげていきます。

また、就農や起業、事業承継等、香南市で新たなチャレンジに対する支援等にも取り組むことで、本市の産業が将来にわたり成長し続けられる「好循環」につなげていきます。

1. 生産性や付加価値の向上を目指す事業者への支援

2. 新たなチャレンジへの支援

3. 魅力ある各産業を知り、学び、体験する機会の提供

産業振興計画を中心に取り組みを推進！



デジタルの力を積極的に導入・活用し、各基本目標の達成を加速化（デジタル推進計画を中心に取り組みを推進）

基本目標：「やっぱり香南市がえい」と思えるまちづくりの推進



数値目標

数値目標	基準値(R5年度)	目標値(R9年度)	根拠等
社会増減数	4人	115人	住民基本台帳
県外からの移住者数	184人	244人	県公表データ

県外からの移住者数：R5年度の45人としていたが県の求めるカウント数に合わせR5年度の数を「184人」とする。

基本的方向

地域ごとの特色や魅力を活かし、「市民が主役の地域づくり」を推進し、安心して暮らせる環境を整えていきます。

人口が減少している中山間地域等では、地域の歴史や誇りを引き継ぐ方々の取り組みを支援するとともに、若い世代のU・Iターン等の移住促進や空き家対策と連動した住居の確保、移住者を受け入れる地域の体制の強化等を進め、地域の新たな担い手(人)の流れを生み出していきます。

新興住宅地等、人口が増加している地域では、つながりの希薄化が進んでいる一方で、子どもを中心としたつながり等が定着しつつあります。また、これまで市が推進してきた町内会等の在り方の必要性を感じない住民も少なくない現状を踏まえ、これまでの取り組みを継続しつつも、SNS等のデジタルを活用した「必要な時につなぎ、頼り合える関係性」を築くための支援等を進め、市民が求める新たなコミュニティの在り方の実現につなげていきます。

防災においては、市民、地域、行政の役割を明確にし、「自助・共助」を基盤とした防災・減災のまちづくりを推進し、多角的な視点から市民の意識向上や環境整備に取り組み、「いざという時に支え合える地域力」をさらに強化していきます。

具体的な施策と重要業績指標(KPI)

1. 移住を希望する 若者 への対応強化

UターンやIターン等、様々な移住の在り方に対応できるように、本市の魅力や本市で暮らすことのメリット・デメリットを整理し、移住希望者が必要とする情報(住まいや仕事等)が届くように対応を強化し移住したいと思われる香南市をつくる。

また、移住者等と地域の方々が理解し合える環境づくりの確立やフォロー体制等に引き続き取り組み、定住へつなげ、地域の新たな担い手の増加につなげていく。

重要業績指数 (KPI)	移住HP等のアクセス数	106,070件	120,000件
基準値/目標値 R5年度 R9年度	お試し滞在住宅の稼働率	56%	86%

(1) 移住

移住フェアへの参加
地方創生移住支援事業
移住定住促進空き家活用住宅事業(お試し滞在住宅)
ワーキングホリデー事業
移住相談の対応

地域おこし協力隊の登用
空き家バンク制度の運営
移住定住促進空き家活用住宅事業(お試し滞在住宅)
ちよいなかこうなん県外交流イベント事業
SNS等を活用した情報発信 等

地域移住サポーターの活動
二段階移住
引越支援事業

(2) 定住

移住者交流会の開催
移住施策の事業紹介や情報の発信 等

地域移住サポーターとの連携
移住者へのフォロー



お試し滞在住宅(香我美町西川地区)



移住促進サイト 香南住む〜ず

<https://www.city.kochi-konan.lg.jp/sumuzu/index.html>



2. 空き家活用等の促進

市内全域で増加傾向にある空き家の適正管理を促すことで利活用できる状態を保てるよう啓発をするとともに、空き家バンクへの登録数を増やし、移住希望者等の住居の選択肢を拡げていく。

また、利活用が難しい空き家に対しては、除却等の促進を図り、安心して暮らせる環境づくりへとつなげていく。

重要業績指数(KPI)	空き家バンクの新規登録数	16軒	14軒
基準値/目標値 R5年度 R9年度			

(1) 空き家の利活用

老朽住宅等除却事業
空き家改修事業
(再掲) 空き家バンク制度の運営



VR機能で、空き家バンクの内覧も可能に！



移住促進サイト 香南住む〜ず(空き家バンクサイト)
<https://www.city.kochi-konan.lg.jp/sumuzu/live/akiyabank/index.html>

基本目標：「やっぱり香南市がえい」と思えるまちづくりの推進



3. 地域コミュニティの強化

地域の課題等の解決に向けた支援や提案を進め、自分の暮らす地域のことが他人事にならないコミュニティを形成する。

重要業績指数 (KPI)	自治会組織の結成率	92.6%	95%
	セミナーや懇談会等への参加者数	413人	614人
	民生委員児童委員の充足率	100%	100%
	いきいきクラブ実施地区数	36地区	36地区
	電子申請サービスの活用件数	- 件	1,400件
基準値/目標値 R5年度 R9年度			

(1) 地域活動の充実

町内会等の結成 出前講座の開催 市民主役のまちづくり支援事業 民生委員児童委員・主任児童委員との連携 集落活動センター事業 オンライン教室の開催

まちづくりセミナーの開催 地域活性化総合支援事業 いきいきクラブ事業 日本語サロン教室の開催 スマホ教室の開催 等

地区別懇談会「香南トーク」の開催 地域主催「ふらっと座談会」の開催



岸本地区集落活動センター（チューリップまつり）

4. 災害に強いまちづくり

「自助・共助」を基盤とした防災・減災のまちづくりを推進し、市民の意識向上や環境整備に取り組み、「いざという時に支え合える地域力」をさらに強化する。

重要業績指数 (KPI)	自主防災組織の結成率(世帯率)	90.2%	100%
	市総合防災訓練参加者数	4,267人	5,400人
	事前復興まちづくり計画策定数	- 件	2件(累計)
	住宅耐震化率	85%	89%
	住宅用火災警報器設置率	44%	70%
基準値/目標値 R5年度 R9年度			

(1) 自主防災組織の設立・活性化と地域の支え合える体制づくり

地域防災計画の策定 防災・減災講習会の開催 香南市みんなで備える防災総合補助事業 等

総合防災訓練の開催 地域防災対策補助事業

各訓練の実施 リーダー育成研修開催



R6年度 総合防災訓練の様子



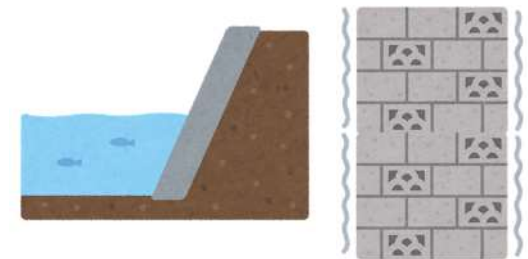
4. 災害に強いまちづくり

(2) 耐震化・防災対策

直轄海岸整備の促進 住宅耐震診断(改修)事業 橋梁耐震補強事業
災害時備蓄品整備事業 耐震性貯水槽設置事業 津波避難道整備事業
コンクリートブロック塀耐震対策事業 (再掲) 老朽化住宅等の除却事業 等



K4 香我美町岸本小学校跡津波避難タワー



5. 地域と連携した子育ての推進

子どもや若者、子育て当事者等が子育てを通じて地域と一緒に成長しあえる環境づくりを推進し、携わるすべての人が生きがいを感じ、活躍できる地域社会を創出するとともに、子どもたちの郷土愛・地域愛の素地を育む。

重要業績指数 (KPI)	三世代交流事業参加者数	1,036人	1,200人
	地域コミュニティの活性化に資する スポーツ関連イベントの開催数	18回	20回
	基準値/目標値 R5年度 R9年度		

(1) 世代を超えた交流

夏休み子ども教室事業 文化財啓発事業 スポーツ少年団事業
生涯スポーツ教室の開催 こどもよさこい事業 ALTや外国人とのイベントの開催
本の読み聞かせ事業 町民運動会等の開催 ファミリーサポートセンター事業 等



野市スポーツ大会の様子



香南市こどもよさこい



パークゴルフ体験

基本目標 : こどもまんなか香南市の実現



数値目標

数値目標	基準値(R5年)	目標値(R9年)	根拠等
出生数	194人(暦年)	206人(暦年)	人口動態調査

基本的方向

個々の価値観を尊重しながら、誰もが望むタイミングで安心して出産・子育てができる環境を整えるため、ライフステージに応じた切れ目のない支援に引き続き取り組みます。

また、地域とともに子育てできる環境を整備し、女性、高齢者、外国人、障がい者等、すべての人が役割や居場所を見つけ、地域で生きがいを感じながら暮らせるまちづくりへとつなげることで、子育て世代も一緒に成長しながら、安心して出産の希望をかなえられるまち(「子育て＝香南市」)のブランド化を図ります。

具体的な施策と重要業績指標(KPI)

1. 妊娠・出産に関する体制の充実

妊娠期からの継続した相談や支援が受けられる体制の充実に引き続き取り組む。出産後の支援にもしっかり取り組むことで、母子ともに健やかに過ごせる環境づくりをさらに確立し、安心して子育てできるフェーズへとつなげていく。

重要業績指数 (KPI)	この地域で子育てをしたいと思う親の割合
基準値/目標値 R5年度 R9年度	97.1% 97.8%

(1) 妊娠・出産期

不妊治療費助成事業(一般・特定)
産前産後ヘルパー派遣事業
産後ケア事業
香南市の森からの贈り物事業
ひとり親家庭医療費助成事業

妊娠出産子育て支援事業
妊産婦・乳児健康診査事業
新生児聴覚検査事業
養育支援訪問事業
等

パパママ教室事業
乳幼児等医療費助成事業
地域子育て支援拠点事業
子育て情報の発信



新生児に香南資材を使用した玩具もプレゼント！



親子ヨガ教室の様子



2. 子育てに関する体制の充実

すべての子どもたちがいきいきと健やかに発達・成長できる環境づくりを家庭や地域、関係機関等と連携しながら整えることで、安心して子育てができる環境を確立する。

重要業績指数 (KPI)	総合子育て支援センター にこなん 利用者数	11,437人	14,000人
基準値/目標値 R5年度 R9年度	放課後児童クラブの利用者数	457人	450人
	ファミリーサポートセンター 利用件数	166件	180件

(1) 乳幼児期

一時預かり事業 延長保育事業 病後児保育事業 幼稚園等預かり保育事業
子育て短期支援事業 多子世帯保育料軽減事業 こどもの遊び場確保事業 等

(再掲)

ファミリーサポートセンター事業 子育て情報の発信 乳幼児等医療費助成事業
養育支援訪問事業 地域子育て支援拠点事業 ひとり親家庭自立支援給付事業
ひとり親家庭医療費助成事業



香南市総合子育て支援センター「にこなん」
https://www.city.kochi-konan.lg.jp/soshikikarasagasu/kyoikuinkaikodomoka/kosodate_kyoikushisetsu/1/index.html



各保育所等で行われている 子育て支援学習会の様子

まかせて会員さんの講習会の様子



こうなんファミリーサポートセンター(香南市社会福祉協議会)

http://konan-shakyoo.or.jp/publics/index/74/&anchor_link=page74#page74

高知県HP: <https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2016080300174/>

2.子育てに関する体制の充実

(2) 就学期

放課後児童健全育成事業
就学援助費支給事業

放課後こども教室の運営 チャレンジ塾事業
市営バス運賃無料化(高校生以下等) 等

(再掲)

ファミリーサポートセンター事業
ひとり親家庭自立支援給付事業
養育支援訪問事業

子育て短期支援事業 乳幼児等医療費助成事業
ひとり親家庭医療費助成事業 子育て情報の発信
こどもの遊び場確保事業



放課後子ども教室イベント時の様子



香南市営バスの運行



子育て情報サイト 香南キッズ : <https://konan-kids.jp/>



野市小学校 第1・第4 放課後児童クラブ



放課後児童クラブ内の様子



3.地域と連携した子育ての推進 (再掲)

子どもや若者、子育て当事者等が子育てを通じて地域と一緒に成長しあえる環境づくりを推進し、携わるすべての人が生きがいを感じ、活躍できる地域社会を創出するとともに、子どもたちの郷土愛・地域愛の素地を育む。

重要業績指数 (KPI) 基準値/目標値 R5年度 R9年度	三世交代事業参加者数	1,036人	1,200人
	地域コミュニティの活性化に資する スポーツ関連イベントの開催数	18回	20回

(1) 世代等を超えた交流

夏休み子ども教室事業
生涯スポーツ教室の開催
本の読み聞かせ事業

文化財啓発事業
こどもよさこい事業
町民運動会等の開催

スポーツ少年団事業
ALTや外国人とのイベントの開催
ファミリーサポートセンター事業 等

4.出会い・結婚に対する支援

出会いや結婚を望む方への支援を進めます。

重要業績指数
(KPI)

基準値/目標値
R5年度 R9年度

こうち出会いサポートシステム
入会登録料補助金 活用者数(人)

-人 150人(累計)

恋い・めぐりあい応援事業

こうち出会いサポートシステム入会登録料補助事業



イメージです。



(2) 結婚

結婚新生活支援事業 等



「香南市にじいのまち宣言」(令和4年10月11日)

多様な性のあり方への理解を深めることにより、お互いを認め、尊重し合いながら、自分らしくいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。
「にじいのまち」とは、多様な性のあり方を虹のグラデーションに見立てて、すべての人が自分らしく暮らせるまちを表現しています。

「香南市パートナーシップ宣誓制度」をスタート!(令和5年3月1日)

この制度に法的効力はありませんが、その関係を行政が証明することによって、性的マイノリティに関する社会的理解を促進するとともに、誰もが自分らしく安心して暮らし、いきいきと活躍できることを応援していきます。



基本目標：魅力ある産業の活性化と新たなチャレンジへの支援を推進



数値目標

数値目標	基準値(R5年度)	目標値(R9年度)	根拠等
(農)新規就農者数	8人	10人	産業振興計画
(水)沿岸漁業総生産額	241百万円	290百万円	産業振興計画
(商)商業者数	770事業所	758事業所	産業振興計画
(工)製造品出荷額	387億円	417億円	産業振興計画
(工)新規雇用者数	11人	11人	産業振興計画
(観)観光施設入込客数	101.8万人	112万人	産業振興計画

基本的方向

DX(デジタルトランスフォーメーション)の活用や多様な人材の確保、時代に沿った生産性の向上、付加価値化に向けた取り組み等に対し、引き続き支援を行い、本市の魅力ある産業の維持・成長へとつなげていきます。

また、就農や起業、事業承継等、香南市で新たなチャレンジを行う方に対する支援等にも取り組むことで、本市の各産業が将来にわたり成長し続けていく「好循環」につなげていきます。

具体的な施策と重要業績指標(KPI)

1.生産性や付加価値の向上を目指す事業者への支援

新規・拡充等による事業の更なる魅力向上に対する支援
働き方改革やワークライフバランス、女性が活躍できる環境づくり、SDGs等、職場環境の改善等に対する取り組みへの支援
外国人材を含めた担い手の確保や育成への支援
デジタル技術を用いた取組の強化(DX化)への支援 等

生産性の向上や付加価値化を高める取り組み等を支援し、魅力ある各産業の維持・成長へとつなげていきます。

重要業績指数 (KPI)	基準値/目標値 R5年度 R9年度		
		8件	5件
(共通)	産業振興計画推進事業費補助金	2人	2人
(共通)	土佐FBC(本科コース)修了者数	7人	180人
(共通)	未来人材育成奨学金返還助成事業 利用者数	7件	13件
(農業)	園芸用ハウス整備事業費補助金	24件	20件
(農業)	園芸用ハウス等リノベーション事業補助金	0件	1件
(水産業)	香南市沿岸漁業設備投資促進事業費補助金	- 件	7件
(商工業)	(観光)	14者	15者
	香南市デジタル技術活用促進事業補助金		
	(観光)		
	観光客受入研修の参加事業者数		

(1) 農林水産業

地域計画の策定
多面的機能直接支払事業
有害獣被害防止事業
農産物のブランド化の推進
水産機能施設の整備事業

耕作条件改善事業
有害鳥獣被害対策実施事業
森林境界明確化事業
(ミカン) 農産物の販売力の推進(ニラ)
デジタル機器導入事業 等



新規就農者(ニラ)



香南市実践型研修ハウス



水産業の様子

(2) 商工業

中心市街地の振興 商談会の開催 各種セミナーの開催 合同企業説明会の開催
デジタル技術活用促進事業 地場産品販売促進事業 先端設備等導入支援事業 等



中心市街地でのスタンプラリー



事業承継セミナー



ふるさと納税返礼品の一例

(3) 観光

新たな観光拠点の形成
魅力発信
旅行商品の造成
イベントの開催
ヤ・シバパークを核とする地域の活性化
スポーツや体験観光等の推進 等



歌舞伎体験



ヤ・シバパークのロケーション



みなこい港まつり

3. 魅力ある各産業を知り、学び・体験する機会の提供

次代を担う子どもやその保護者、関係者等に本市の魅力ある産業の内容を知り、学び、体験する機会を提供し、未来の人材の育成へとつなげていく。

重要業績指数 (KPI) 基準値/目標値 R5年度 R9年度	(農業) 新規就農者総合対策事業活用件数(就農準備資金)	0件	1件
	(水産業) 新規漁業就業者数	0人	1人
	(商工業・観光) 新規創業件数	11件	8件
	(商工業・観光) 事業承継件数	9件	7件
	(商工業・観光) 空き店舗等対策事業費補助金利用件数	3件	3件

重要業績指数 (KPI)		R5年度		R9年度	
基準値/目標値	(水産業) 学校給食への納入回数 (かちりじゃこ)	76回	45回		
	(水産業) 学校給食への納入回数 (シイラ)	24回	20回		
	(商工業) ものづくり教育推進事業参加者数	29人	30人		
	(商工業) 合同企業説明会 開催数	2回	3回		

(1) 農林水産業

保・幼・小・中での森林体験学習



(二) 新規就農に向けて活動する 地域おこし協力隊 (みかん)



経営発展支援事業にて導入された ニラのそぐり機



田植え体験



三枚おろし体験



ファーストスプーンづくり



幼稚園等での食育教室

(2) 商工業・観光

子ども等を対象としたイベントやお祭り等の開催 等



事務系企業誘致



空き店舗情報を市ホームページに掲載
<https://www.city.kochi-konan.lg.jp/soshikikarasagasu/shokokankoka/akitenpo/9516.html>



お仕事体験博の様子



ものづくり体験の様子

SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。

2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された「2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標」のことです。

17のゴール、169のターゲットが設定されるとともに、進捗状況を測るための 約230の指標(達成度を測定するための評価尺度)が提示されています。

地方創生の推進 (内閣府 地方創生SDGs HPより抜粋)

地方創生は、少子高齢化に歯止めをかけ、地域の人口減少と地域経済の縮小を克服し、将来にわたって成長力を確保することを目指しています。

地方が将来にわたって成長力を確保するには、人々が安心して暮らせるような、持続可能なまちづくりと地域活性化が重要です。

特に、急速な人口減少が進む地域では、くらしの基盤の維持・再生を図ることが必要です。

持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて取組を推進するに当たっては、SDGsの理念に沿って進めることにより、政策全体の全体最適化、地域課題解決の加速化という相乗効果が期待でき、地方創生の取組の一層の充実・深化につなげることができるため、SDGsを原動力とした地方創生を推進します。

本市の在り方

本市では、第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を図ることでSDGsの目標達成に資すると考え、17のゴールに対し、自治体行政が果たし得る役割と結びつきを整理し、取り組みを進めてきました。

香南市未来戦略(第3期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略)においても、引き続き、SDGsという世界共通の課題に取り組むことを意識した施策・事業を推進することで、全ての関係者が役割を重視し、誰ひとり取り残さない持続可能な社会の実現や本市の持続可能なまちづくりや地域の活性化へとつなげていきます。



出典)国際連合広報センター Webサイトより